

# 講演「河川・水辺の生態系と生物多様性」

名古屋市水辺研究会代表：國村恵子さん

## < 講演要旨 >

河川における横断構造物であるダム、農業用水の取水堰、上水取水堰、河口堰、砂防堰堤などが、河川の生態系や河床材料に与える影響について東海地方の河川を対象に写真や事例を示して講演されました。

土砂、栄養塩、底生生物、珪藻類、水生昆虫、甲殻類、淡水魚、野鳥、陸上ほ乳類などが生態系として河川において形成され、地域固有の生物多様性を維持している点、河川には瀬と淵、水際の多様性、河畔林や溪畔林、など河川形状も重要である点が指摘されました。

それらの物質循環や水循環に悪影響を及ぼすのが、河川横断構造物であることをあらためて知ることができました。

また、木曾川水系連絡導水路が長良川から木曾川へと連なる各務ヶ原アルプスの山並みを貫通し、境川へ流入する山からの湧水や地下水に影響する点、絶滅危惧種が生息する河川生態系が危険にさらされることを実際に採取した魚類や水性昆虫の写真を示され具体的に話されました。

(文責:加藤事務局長)